

「平和を願って」

読谷小学校 五年三組 川之上 芽衣

私はこの沖縄が大好きだ。でも七十四年前、私の大自然が大好きだ。でも七十四年前、私の大好きな沖縄がはくだん、じゅう声、悲鳴、そして、ほのおに包まれた。

先日、私達は七十四年前の沖縄を調べるために平和学習を行った。戦争体験者の方から話を聞くことができた。私は戦争を体験していない。でも、とてもこわい、悲しいこと

だとわかる。

国語の授業で名嘉憲夫さんがつくった「沖縄や皆、変わって」行ちゆる」という詩を学んだ。この詩は戦争について書かれている詩だ。た。

「痛ていん 眠だらん
起きていん 安まらん
沖縄や 戦場になやい
皆、変わって」行ちゆる

森ぬ形ん変わって」

浜ぬ色ん変わてい

人ぬ姿ん変わてい

我々違ぬ心ん変わり果ててい

この詩は、戦争がおこると森、海、人の心ま
で変わってしまふと書いていゝる。私の心にお
もくひびいた。戦争で、傷つき、助け合うこ
とも忘れてしまふ人々。今私がいゝる沖縄とは
全くちがった沖縄。私は、とても悲しく感じ
た。助け合う心、陽気な心それが本当の沖縄
の人々。人々の心を変えてしまふたのは、全

部戦争だ。だから、ずっと守り続けていこう
と思つた。平和な暮らし、平和な人々、平和
な沖縄を。

私は、平和で、皆が笑つて楽しくくらせる
沖縄が大好き。七十四年前の海、空、大地な
んかじゃない。私が今いゝる沖縄だ。皆と遊び、
皆と学校で勉強し、皆と話し合う。それが、
本当の幸せといい、大好きな沖縄といゝる。
その考えは私だけではない。沖縄にくらす人
々、全員の願いだ。皆、そのことをわかつて

いるはずなのに、今も世界のどこかで戦争は
おこっている。

沖縄が好きだったら、もっと思えよう。

沖縄の平和を守り続けたいんだ。たら、も
っと分かち合い、助け合おう。

私はこれから、あたり前のことを大切にし
ていきたい。平和を大事にしていきたい。も
っと便利で住みやすくなんかじゃない。だれ
が見ても本物だという幸せをつくり、戦争な
どのない沖縄にしていきたい。そのためにも、

未来に向けて、次世代に七十四年前の悲劇を
伝えていかなければならないと強く感じてい
る。

沖縄におこるはずがなかった戦争。過去の
ことはもう取り消せない。未来を明るく希望
のある沖縄にするためにも、一生七十四年前
の戦争はわすれてはいけない。